

# 屈足の皆さん、お元気？

## 新得町が巡回診療スタート

【新得】屈足地区住民の健康を守るため、町は4日、小規模多機能センターららで巡回診療をスタートさせた。社会医療法人北斗新得クリニック(町3条南5、計良基治院長)循環器内科の木村孝医師(68)が毎週火曜日の午前中に同所を訪れ、住民の診療や健康診断に当たる。

### 北斗から毎週火曜に

診察室は同施設の健康相談室に開設。早速住民が訪れ、木村医師は「みそ汁は味を濃くせず、漬物は少しだけ」家の中でも足を使っ

て。寝たきりになったらお迎え早まるよ」などと優しく患者に語り掛けた。両脚を悪くして2週間後に入院を控える片桐うめのさん(88)は「家の近くまで来てくれて本当に助かります」としみじみ語った。

担当医の木村孝氏は1947年、室蘭市生まれ。北大医学部卒業後に北大病院(札幌)、斗南病院(同)、時計台記念病院(同)を経て2003年から10年半にわたって静和記念病院(同)院長

を務めるなど、経験豊富な医師として信頼を集めている。

診察室には聴診器と血圧計、採血・採尿の機器があり、木村医師の他に看護師と事務員の3人態勢で診療に当たる。常設医療機関のように十分な設備はそろっていないが「長年の勘から、ファーストタッチで病気を

見つけ出すのが使命。元気で長生きしてもらおうバックアップをしたい」と話す。医師を派遣委託している町も必要に応じて来年度の予算で物品をそろえる予定で、保健福祉課の坂田洋一課長は「住民の医療ニーズを収集しながら、的確に伝えていきたい」としている。毎週火曜日午前9時15分～午後0時15分で、家庭的な診療に限定している。

同地区は、04年に屈足小学校が閉校されるなど人口減が進み、3月末現在で1535人。高齢化率は41.1%に達する。07年9月、同地区で唯一の開業医が高齢を理由に引退。地域住民はバスなどで他地区の医療機関へ通わなければならぬ不便が生じており、身近な医療体制の整備が懸案となっていた。(小寺泰介)



診療に訪れた片桐さんに笑顔で話し掛ける木村医師(右)